

# SiteLock 操作マニュアル

～ XSS 脆弱性診断の読み方 ～

## 目次

1. XSS 脆弱性診断のステータス確認.....	2
2. XSS 脆弱性診断の診断結果.....	3
2.1 診断結果の閲覧.....	3
2.2 診断結果のエクスポート.....	4
3. 診断結果の通知.....	5
4. 診断結果が不合格になる要因.....	5
5. XSS 脆弱性診断が保留中または未設定と表示される要因.....	6

# 1. XSS 脆弱性診断のステータス確認

XSS 脆弱性診断 (XSS SCAN) のステータスを確認するには、SiteLock のコントロールパネルにログインします。ログイン後に表示されるダッシュボード (図 1) のアイコンで、以下を確認できます。

- XSS 脆弱性診断が実施される前、または実施された後であるか
- XSS 脆弱性診断が実施された場合
  - 診断を合格したかどうか
  - XSS 脆弱性診断の最終合格日
  - XSS 脆弱性診断の最終診断日

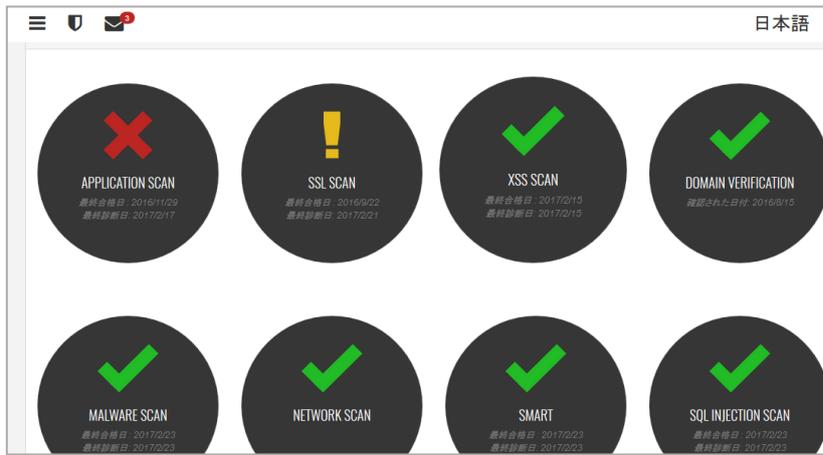


図 1

表示されるアイコンや情報には、それぞれ意味があります。

アイコン一覧		
 <p>XSS SCAN 最終合格日: 2017/2/15 最終診断日: 2017/2/15</p>	 <p>XSS SCAN</p>	 <p>XSS SCAN 最終合格日: 2017/2/15 最終診断日: 2017/2/15</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● XSS 脆弱性診断は実施済み</li> <li>● 最終合格日は、最後に診断を実施し、安全を確認できた日</li> <li>● 最終診断日は、最後に診断を実施した日</li> <li>● 安全を脅かす問題なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● XSS 脆弱性診断の開始を待っている</li> <li>● 安全を脅かす問題があるかどうかは、診断実行前なので不明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● XSS 脆弱性診断は実施済み</li> <li>● 最終合格日は、最後に診断を実施し、安全を確認できた日</li> <li>● 最終診断日は、最後に診断を実施した日</li> <li>● <b>安全を脅かす問題あり</b></li> </ul>

## 2. XSS 脆弱性診断の診断結果

### 2.1 診断結果の閲覧

SiteLock のコントロールパネル上で、詳細な診断結果を閲覧できます。

**STEP1** ダッシュボードの「XSS SCAN」のアイコン（図2）をクリックします。表示されるアイコンは、アプリ診断のステータスに応じて異なります。



図2

**STEP2** アイコンをクリックすると、XSS 脆弱性診断の結果が表示されます。図3は、2017年2月16日時点の診断結果を表示しています。診断結果は、XSS 脆弱性はなく、診断対象となった550URLにおいて安全が確認されたことを指しています。

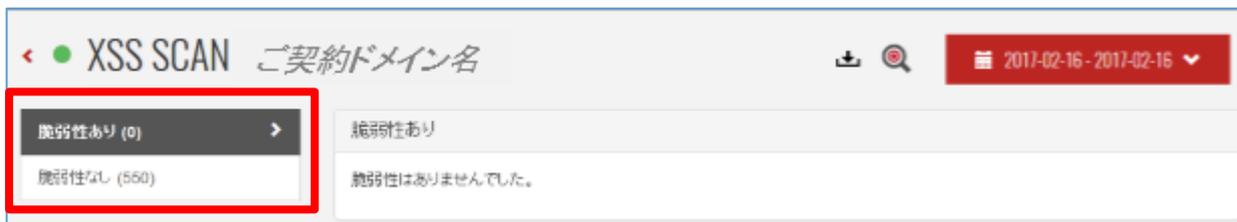


図3

**STEP3** ページ右上の日付表示されている箇所をクリックすると、図4のように任意の日または期間を指定して診断結果を表示できます。これにより、最大90日間まで遡って診断結果を確認できます。



図4

**STEP4** 左メニューの「脆弱性なし」をクリックすると、下図のように診断を実施して「脆弱性なし」と確認できたURL一覧を表示できます。

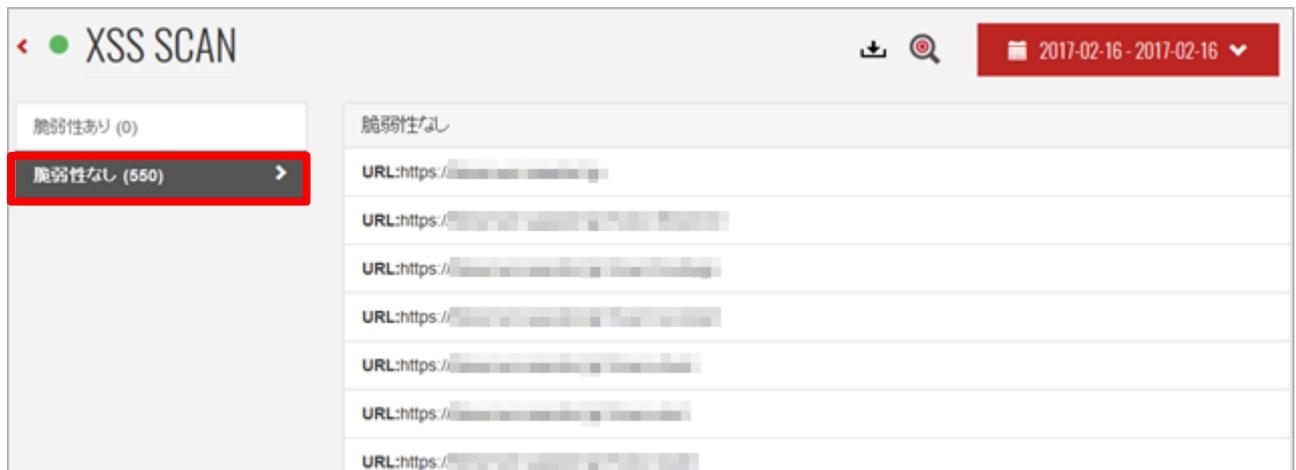


図5

図6は、XSS脆弱性が検知された診断結果の事例です。診断結果です。脆弱性のあるURLとパラメータがそれぞれ表示されます。



図6

## 2.2 診断結果のエクスポート

診断結果をエクスポートするには、図7のようにコントロールパネルの右上にある  アイコンをクリックします。これにより、CSV形式のファイルとしてエクスポートできます。



図7

エクスポートの方法ですが、図8のように①Microsoft EXCELなど指定のプログラムで開く、または②お客様のパソコン上にダウンロードしてファイルを保存するなど、2種類の方法から選べます。

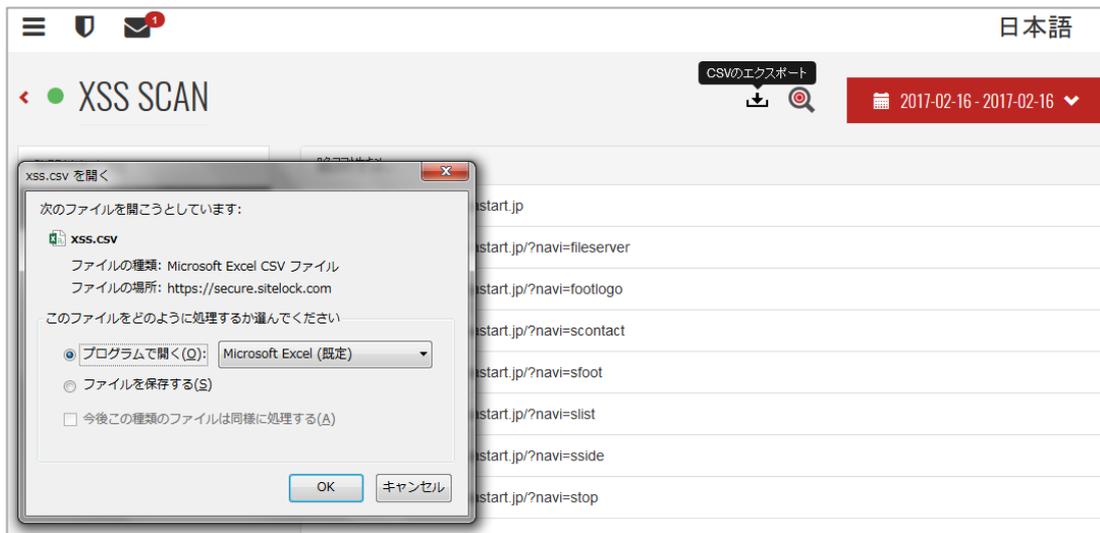


図8

### 3. 診断結果の通知

XSS脆弱性を検知した場合、お客さま宛てにメールで通知します。また、図9のようにコントロールパネル上のお知らせインボックスにも通知します。脆弱性が見つからなかった、または「中・低」の脆弱性を検知した場合、コントロールパネル上のお知らせインボックスに通知します。

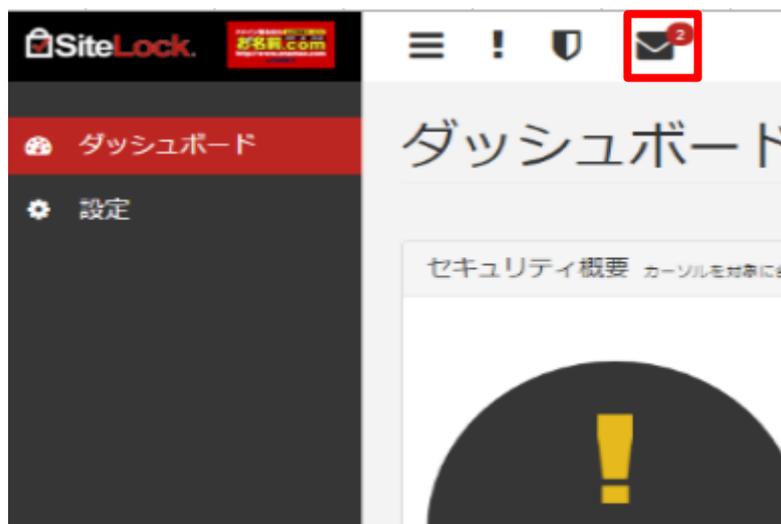


図9

### 4. 診断結果が不合格になる要因

XSS脆弱性診断の結果、診断対象のドメイン配下に XSS脆弱性が検知されると不合格になります。

## 5. XSS 脆弱性診断が保留中または未設定と表示される要因

XSS 脆弱性診断が保留中、または診断未設定と表示される主な要因は、以下のとおりです。

1. XSS 脆弱性診断を実施する設定を行っていない
2. XSS 脆弱性診断の初回診断が行われるのを待っている状態である
3. その他、XSS 脆弱性診断が開始されない問題が生じている